

学校経営推進費 評価報告書（2年め）

1. 事業計画の概要

| | |
|--------|---|
| 学校名 | 大阪府立泉北高等学校 |
| 取り組む課題 | キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現） |
| 評価指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外大学の総合型選抜（A0入試・多目的評価入試等）合格者数 ・ 図書館における地域プロジェクト会議開催回数 ・ 課題研究における文献検索・グループワーク、アクティブ会議スペースとしての図書館活用回数 ・ 年間図書館利用者数、年間図書貸出数 |
| 計画名 | SHARE-BRARY プロジェクト ～SDGs 未来高校をめざして～ |

2. 事業目標及び本年度の取組み

| | |
|------------------|---|
| 学校経営計画の 中期的目標 | <p>1. 新しい時代のキャリア教育</p> <p>第5期科学技術基本計画において我が国が提唱する未来社会 Society 5.0 を見据え、人工知能の発達やグローバル化のさらなる進展など、これからの変化の激しい時代を生き抜き活躍するための能力の育成を図る。</p> <p>※ 目標：国内 SGU や海外の大学等などが行う A0 入試や多面的な評価での入試（総合型選抜）に強い学校を作り上げ、令和6年度には当領域での合格者数 30 名以上 [R1:16 名、R2:20 名、R3:23 名] をめざす。</p> <p>ア 課題研究等の取組みを通して「自ら課題を見つけ、調査・研究し、分析・考察を行う」能力と「知り得た知識や情報を口頭発表や論文等の形式で他の者にうまく伝える」能力の育成を図る。</p> <p>イ 国内大学のグローバル化、海外の大学への進学ニーズに対応するとともに、A0 入試や総合型選抜（課題研究、長期・短期留学論文等）への対応を図る。</p> <p>ウ 国際教育の充実を図ることを通してグローバルキャリア観を醸成する。</p> <p>エ 地域での体験的活動や外部機関との連携等を通して、今後の社会形成に積極的に関わろうとする意欲の醸成を図る。</p> <p>オ 上記活動の拠点として、「Sharebrary（シェアブラリー）」[R3 学校経営推進費によりリニューアルした本校図書館] を有効活用する。</p> <p style="text-align: right;">* R5 目標：地域連携関連会議年間 5 回以上開催、 年間来館者数 4,000 名以上 [R2:1,720 名、R3:1,182 名(7月迄)]、 年間図書貸出数 2,000 冊以上 [R2:654 冊、R3:538 冊(7月迄)]</p> |
| 事業目標 | <p>図書館という閉鎖的な空間をオープンにし、地域住民を含む誰もが利用できる図書館づくりを推進する。生徒の年間利用回数や読書冊数の引き上げを図るとともに、いつでも探究活動、読書、コミュニケーション、フィールドワークを行うことができるコミュニティスペースとし、この場をベースに生徒が身につけた能力を活かした大学の総合型選抜において、合格者増を図る。</p> <p>また堺市と連携し、地元の児童・学生や地域住民が参加する「国際会議」や「プロジェクト会議」を開催し、SDGs の No11「住み続けられる街づくり」の具現化に取り組むことを通して、地域の「教育拠点校」としての機能・役割を果たし、「SDGs 未来高校」の称号を獲得する。</p> |
| 整備した 設備・物品 | <p>図書室リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備：ステージ、窓際カウンター、移動書架、照明 ・ 物品：人工樹木、オットマン、入口サイン、ホワイトボード |
| 取組みの | 企画運営： 課題検討委員会（校長・教頭・首席・科長・教務主任・進路指導主事） |

| | |
|---------------------|---|
| 主担・実施者 | <p style="text-align: center;">図書広報部（部長＋7名） 探究委員会（探究主担＋10名）</p> <p>実 施 者： 全教員</p> |
| 本年度の取組内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. Sharebrary を活用した探究活動 <ol style="list-style-type: none"> ①国際交流会議（シンガポール国立大学の学生 18 名とオンライン交流） 2 回実施（本校生徒 24 名参加） ②滋賀県高島市安曇川町の商工会及びアドベリー生産協議会とのオンライン企画会議（本校生徒 5 名参加） ③株式会社 Pasah との商品開発会議 5 回実施（本校生徒 12 名参加） ④Sharebrary コミュニティ開放・地域交流 2 回実施 ⑤高校生ボランティアアワード地区予選オンライン参加（本校生徒 5 名参加） ⑥堺市スマートシティコンソーシアムにおける VOC 発表会議 2 回実施（本校生徒 40 名参加） 2. Sharebrary を活用したグローバル教育 <ol style="list-style-type: none"> ①Global Studies／異文化理解の授業を行い、リサーチやディベート活動を実施 年間授業スケジュールに反映 ②総合型選抜入試面接対策講座 15 回実施（本校生徒計 12 名参加） |
| 成果の検証方法と評価指標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 探究活動（課題研究）の成果を活かし、大学の総合型選抜の合格者を 25 名以上に増やす。 2. 国際会議・プロジェクト会議を 4 回以上開催する。 3. 探究活動・プロジェクト会議・国際会議・自習空間のための共有スペースとして活用することで図書館来館者を 3,500 名以上に増やす。 4. 読書習慣を定着させ、図書貸出し冊数を 1,500 冊以上に増やす。 |
| 自己評価 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合型選抜の合格者は今年度 26 名であった。【昨年度 23 名】 …………… (○) 2. 国際会議・プロジェクト会議は、10 回開催（うちオンライン 4 回）【昨年度 0】 …………… (◎) 3. 今年度来館者数 2,835 名【昨年度 1,182 名】 …………… (○) 4. 今年度図書貸し出し冊数は 672 冊【昨年度 538 冊】 …………… (△) <p>探究活動を行う上で、Sharebrary で企画会議や戦略会議、オンライン会議をすることができたため、その利用価値を 2 年生や 3 年生を中心に普及させることができた。</p> <p>また、授業を Sharebrary で実施することにより、生徒にとって身近に感じることができ、来館者数が昨年度から倍増した。</p> <p>反面、まだまだ図書貸出し冊数を増やすことができず、例年通りとなっている。要因としては、Sharebrary の中で読書をすることで、貸出しにまで至らないことが挙げられる。今後も持続的に貸出しを促していきたい。</p> |
| 次年度に向けて | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 総合型選抜や学校推薦型入試での国公立並びに関関同立合格者：30 名以上 ➢ 地域関連会議の開催：5 回以上 ➢ 図書館来館者：4,000 名以上 図書貸出し冊数：2,000 冊以上 をめざす。 |